

まもる通信



活力ある地域社会と人のふれあい
ともにいっしょに



寺田守 後援会だより

発行: 寺田守後援会
会長 鈴木昌二
袋井市久能1810-11
TEL: (44) 1351

✉ mamorut@yr.tnc.ne.jp
http://www.mamoru-t.net

vol.12
2012年8月



6月議会報告

6月定例議会が、6月5日から27日まで開催され、議題38号から43議案まで審議の上、可決されました。また、議員提出議案として、発議第2号から4号までが採決されました。

◎議案の主な内容

〈議題38号〉補正額950万円を予算に組み入れ、補正後の予算総額を298億1,950万円とするもの。補正額の中には、緊急雇用創出事業950万円のほか、和興フィルターテクノ

ロジー(株)からのご寄付があります。同社は、建設した津波避難施設費用のうち、市の負担金相当額400万5,000円を寄付して頂きました。

〈議題39号〉袋井市印鑑条例及び袋井市手数料条例の一部改正。住民基本台帳法の一部改正、外国人登録法の廃止に伴うものです。

〈議題40号〉袋井市訪問看護ステーション条例の廃止。市の訪問看護ステーションが、民間移行により終了したことによるものです。

〈議題41号〉静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更。住民基本台帳の一部改正、及び外国人登録法の廃止に伴う負担金の変更によるものです。

〈議題42号〉財産の取得。津波非難高台建設に伴う用地買収費用です。買収予定価格6,529万4,950円 ※2ページに説明記事

〈議題43号〉人権擁護委員推薦に関するもの。



「金環日食」見えたよ。
(袋井北小学校で観察会/5月21日)

◎議員提出議案

〈発議第2号〉議会改革特別委員会の設置に関するもの(定数11人)

〈発議第3号〉防災特別委員会の定数変更に伴うもの(変更前22人→変更後11人)

〈発議第4号〉「心の健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を求める意見書の提出

台風4号市内で被害

6月19日(火)午後5時頃、和歌山県南部に上陸した台風4号は、当市を暴風圏に巻き込み、各地で被害を発生させました。今回の被害の特徴は、長時間に渡る停電と塩害です。特に停電の被害では、排水機場などが作動できない事態となり、非常用電源の確保など、今後課題を残しました。塩害では、茶葉や露地野菜が大きな被害を受けました。(被害の状況6月27日現在)

- ◆停電の復旧 最長復旧6月20日PM9:55まで
- ◆人的被害 なし
- ◆家屋の損害 全壊なし、一部損壊93件、床下浸水2件
- ◆塩害 茶、露地野菜、ハウスの倒壊など



浅羽海岸近くの塩害で被害をうけたトウモロコシ畑。



ホームページを開設しました

<http://www.mamoru-t.net>

袋井市会議員 寺田守 でも検索できます。

津波避難高台「平成の命山」整備構想

湊地区の津波避難場所である高台を建設するための用地買収が、この6月議会で可決されました。(1面・議題41号)

今回の高台は、江戸時代に建設された史跡の名称にちなんで「平成の命山(いのちやま)」とも言われ、丘のように土盛りして高台を造り、津波からの避難場所とするものです。

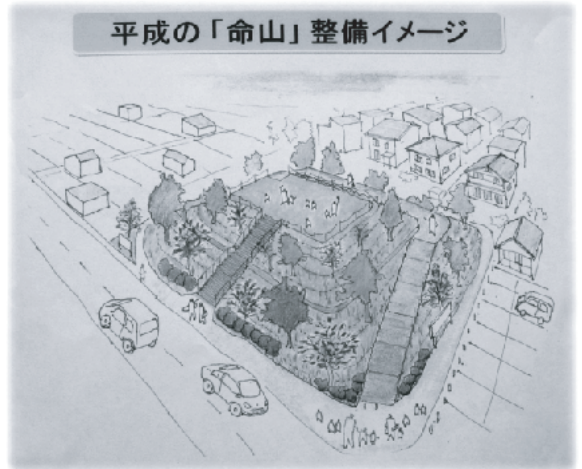
南海トラフが動いた時、浅羽海岸に押し寄せる津波高は、最大で11.4mと予想されました。市内で海拔5m以下に住んでいる住民の人口は約1万7,000人、地域住民が10分以内に避難できるように、市の津波避難対策が進められています。湊地区の高台建設もこの一環で、頂上は海拔12m(地上高10m)、収容人数は800人、建設費は用地買収費を含め1億6500万円を見込んでいます。

同地区は、周辺に高い建物がなく、避難タワーなどの建設も難しいことから、このような高台建設が計画されました。高台の場合には、普段は公園として使えるといった利点もあります。

高台は、更に1箇所、中新田地区に建設が予定されています。



↑ 建設予定地のABCパチンコ跡地



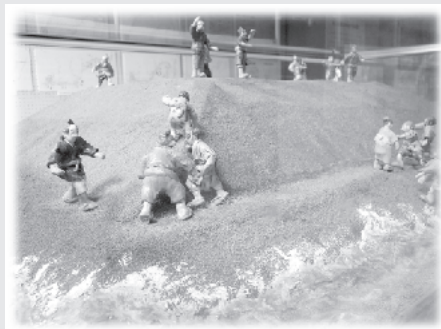
↑ 完成後のイメージ

【湊地区に建設される予定の高台の概要】

- 建設場所 市内湊 国道150号線沿い (旧ABCパチンコ店の跡地)
- 面積 地積6,433m² 避難場所約800m²
- 収容人数 800人
- 高さ 海拔12m以上 (地上高約10m)
- 土量 約3,500m³
- 勾配 1:2
- 建設費用 用地取得予定価格 約6530万円
- 工事費 約1億円
- 完成時期 平成25年8月

◇江戸時代の避難高台◇

市内の中新田、大野には、「命山(いのちやま)」などと呼ばれる静岡県指定の史跡が残されています。この史跡は小山になっていて、延宝8年(1680年)の台風で、多くの死者がでた高潮被害をきっかけに築かれたものです。このような史跡が残っていることは非常に珍しく、当時の人たちの自然災害との戦いの歴史を今に伝えています。



↑ 中新田の命山
← 命山と当時の人々の様子を描いたジオラマ(袋井市歴史文化館より)

岩沼市で「千年希望の丘」建設

今回本市と防災対策で連携ができた宮城県岩沼市では、高台が人命救助や減災に効果があったということから、高台「千年希望の丘」の建設を進めています。

→2011年5月撮影



小山鷲巣線の通学路の安全対策は

質問 多くの児童生徒が通う市道・小山鷲巣線の鷲巣地内の通学路は危険な箇所が多い。安全対策をどのように考えているか。

回答 同通学路は、交通量も多く改良が必要な道路として認識している。これまでも安全対策を実施してきたが、更に袋井警察署とも協議し、実施可能なものから早急に着手して行きたい。



↑危険な鷲巣地内の通学路

総合体育館の建設候補地は

質問 築後39年経った市民体育館が老朽化し、建替えが計画されている。建設地は交通アクセス、災害時の避難施設としての役割が期待されるが、建設の候補地について伺う。

回答 本市のスポーツ施設として、子供から高齢者まで多くの市民が利用しやすいことが立地条件として必要である。当然、災害時には防災機能を備えた施設ともなる。今年度は、体育関係者などの意見を聞きながら、施設規模や機能等をまとめ、立地場所も検討して行きたい。



↑老朽化が目立つ市民体育館

袋井宿開設400年記念事業の取組

質問 4年後に迫った袋井宿開設記念事業は、袋井市を活性化させ、全国に発信する絶好の機会になる。この事業の推進をどのように考えているか。

回答 9月には市民実行委員会を立ち上げ進める予定となっている。特に今回の記念事業は、2001年の東海道開設400年事業と違って市の単独事業であり、歴史や文化に造詣の深い方、民間手法を駆使できる人など、幅広い人材を結集して事業を推進して行きたい。



【袋井宿の助郷図】
江戸時代、袋井宿にも宿場を支える助郷(すけごう)制度があった。磐田、掛川、森を含め近在の92ヶ村が袋井宿に人、馬や物資を送り、賑わいを支えた。



今後のベトナムとの交流は

質問 4月ベトナムの独立運動家ファン・ボイ・チャウと、これを支援した浅羽佐喜太郎の縁で市民、商工会議所、国際交流協会、市当局、市議会など62人の訪問団がベトナムを訪れたが、今後の市のベトナムとの交流について伺う。

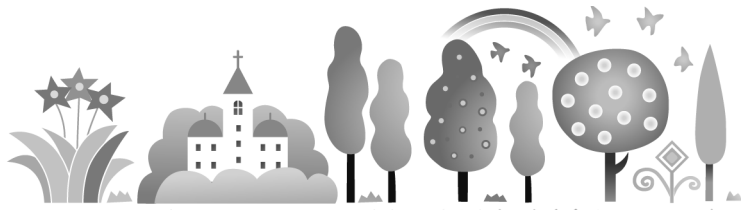
回答 今回の訪問は、ベトナムとの交流の礎を築くことが出来た。来年は、日越国交回復40周年を迎えることから、交流の更なる広がりや発展の節目の年になることを期待している。

→フエ市を訪れた市訪問団
市内目抜き通りに移設されたファン像の前で(4/16)



☺みんなの力で住み良いまちをつくろう

まちがどウォッチング



中東遠消防指令センターが稼働

当市をはじめ磐田、掛川、菊川、御前崎の各市と牧之原市の一部、森町を管轄する中東遠消防指令センターが、この4月より本格稼働し、消防指令業務を開始しました。指令センターのある場所は、旧福田町庁舎の4階、総事業費は約18億円でした。

指令センターで目を引くのは、約15億円かけた高機能消防指令システムです。このシステムでは、受信した119番通報から発信者の位置を直ちに特定することができる他、緊急車両の位置情報をとらえ、効果的な指令業務を行うことができるようになっています。

管内の世帯数は約18万世帯、人口約51万人、年間の119番通報は18,546件(昨年度実績)、地域の安全を守る要として役割が期待されています。



↑ 中東遠消防指令センター
← 中東遠消防指令センター管内全体図



↑ 市役所で行われた調印式(5/23)

河川愛護・リバーフレンドシップに調印

2級河川の美化活動を応援するリバーフレンドシップ制度の調印式が、5月23日、関係団体、市及び中遠土木事務所によって行われました。今回調印した団体は、上久能自治会と、山田敷地川、川会敷地川、川会一宮川、大谷敷地川、見取敷地川、見取中沢川、見取小藪川の各愛護会、計8団体です。

この制度は、300m以上の2級河川護岸堤防の草刈を行っている団体が対象になり、締結すると初年度は20万円以内、翌年以降は2万円以内の消耗品などの支給を受けることができます。これまで調印した市内の団体は、計26団体となっています。

耕地整理の祖・名倉太郎馬「記念碑」除幕式

耕地整理の祖といわれる名倉太郎馬の業績を称える記念碑が建立され、6月3日除幕式が行われました。太郎馬は、現在の市内・松袋井の出身、成人して彦島村に養子に入り、当時貧しかった農民の救済に全力を挙げました。太郎馬の業績で特筆されるのは、明治5年全国で最初に行なわれた耕地整理事業で、全国の改修事業の模範ともなりました。太郎馬が行った耕地整理は、今でも当市の水田の基となっており、その偉業を偲ぶことができます。

→ 名倉太郎馬の偉業を顕彰する石碑の除幕式(6/3)



宇刈里山公園が大日地区に開園

宇刈・大日地区に「宇刈里山公園」が4月にオープンし、訪れる人に憩いと安らぎを提供しています。特にこの公園は、地域の豊かな自然を活かした公園で、蜚や化石をテーマとしています。大日地区は、源氏蜚の自生地として知られています。また、200万年前の化石の宝庫としても有名で、小中学生は勿論、地球環境や地学の学習の場としても活用が期待されます。

← 宇刈里山公園の開園を祝う除幕式(5/21)

ミニ博物館「スズキ化石資料館」をオープン

前観光協会事務長の鈴木政春氏が、これまで収集した化石を展示するミニ博物館を市役所近くの旧東海道沿いオープンさせました。資料館には、掛川層群を中心に約5000点の化石が展示され、鮫の歯の化石や真珠の化石など、珍しい化石も見ることが出来ます。(来館の際には電話を。☎0538-42-4767) http://www.geocities.jp/suzuki_kasekikan/

